

2013年度業績

[著書]

1. 小野寺真一, 液体試料(ガス・溶液)分析, 2p, 『地球環境学マニュアル』 地球環境学マニュアル編集委員会編, 朝倉出版, 2014年.

[論文(査読あり)]

1. 中川 啓, 和田直之, 開發一郎, 徳永朋祥, 近藤昭彦, 小野寺真一, 他 6名, 平成 23 年東北地方太平洋沖地震の津波による水源地下水への影響について, 地下水学会誌, **55**, 21- 28, 2013年.
2. 西城 潔, 遠藤 遼亮, 小野寺真一, 名取川下流部の津波浸水水田における表土層の塩分濃度分布, 季刊地理学, **64**, 173-177, 2013年.
3. Haque, J.S., Onodera, S., Shimizu, Y., An overview of the effects of urbanization on the quantity and quality of groundwater in South Asian megacities, *Limnology*, **14**, 135-145, 2013年.
4. 清水裕太, 小野寺真一, 斎藤光代, 郊外農業流域におけるリン流出量推定への SWAT モデルの適用可能性, 水文水資源学会誌, **26**, 153-173, 2013年.
5. 大西晃輝, 小野寺真一, 他 5名, 巨大都市ジャカルタのチリウン川における水質汚濁特性, 水文科学会誌, **43**, 39-46, 2013年.
6. Shimizu, Y., Onodera, S., Effect of climate change on flood events as major driver of nutrient discharge from a suburban watershed, western Japan, *IAHS Publication*, **359**, 38-43, 2013年.
7. Saito, M., Onodera, S., Shimizu Y., Effects of residence time and nutrient load on eutrophic conditions and phytoplankton variations in agricultural reservoirs, *IAHS Publication*, **361**, 197-203, 2013年.
8. Onodera, S., 他 5名, Nutrient transport and surface water-groundwater interactions in the tidal zone of the Yamato River, Japan, *IAHS Publication*, **361**, 204-211, 2013年.
9. Shimizu, Y., Onodera, S., Saito, M., The effect of small impoundments on nutrient transport in a suburban watershed, *IAHS Publication*, **362**, 172-177, 2013年.
10. Jin, G., Onodera, O., Amano, A., Saito, M., Shimizu, Y., Sato, T., Effects of dam construction on sediment phosphorus variation in a semi-enclosed bay of the Seto Inland Sea, Japan, *Estuarine, Coastal and Shelf Sciences*, **135**, 191-200, 2013年.
11. 伊藤浩子, 小野寺真一, 沖泰三, 塚本千鶴, 青木一男, 大阪平野とその周辺地域における地下水観測井の水質の特徴, *Kansai Geo-Symposium 2013* 論文集, 21-26, 2013年.
12. 小野寺真一, 清水裕太, 伊藤浩子, 塚本千鶴, 沖泰三, 青木一男, 大阪平野における窒素負荷の変動とその地下水水質に及ぼす影響, *Kansai Geo-Symposium 2013* 論文集, 27-30, 2013年.
14. Guangzhe Jin, Shin-ichi Onodera, Atsuko Amano, Mitsuyo Saito, Yuta Shimizu, Takaharu Sato, Effects of dam construction on sediment phosphorus variation in a semi-enclosed bay of the Seto Inland Sea, Japan, *Estuarine, Coastal and Shelf Science*, **135 (20)**, 191-200, 2013.

15. 大西晃輝, 小野寺真一, 他 3 名, 大量施肥農業流域における不圧地下水水中での溶存 N₂O の空間分布特性, 陸水学雑誌, 75, 1-11, 2014 年.

[論文 (査読なし)]

1. Onodera, S., Tase, N., Terada, R., Saraiva, F., Hirata, R., Saito, M., Maruyama, Y., Nutrient component of groundwater in agricultural land, Proceedings of Workshop on Water, Nitrogen, and Agriculture in the State of São Paulo, Brazil, 41-44, 2014.

[国際会議等発表]

1. Onodera, S.; Saito, M.; Yoshikawa, M.; Onishi, K.; Shimizu, Y. Nutrient transport and surface water-groundwater interactions in the tidal zone of the Yamato River, Japan, IAHS/IAPSO/IASPEI Joint Assembly, IAHS Symposium H04S4.03, Gothenburg, Sweden, on July 24, 2013.
2. Shimizu, Y. and Onodera, S., Effect of climate change on flood events as a major driver of nutrient transport in western Japan. IAHS/IAPSO/IASPEI Joint Assembly, IAHS Symposium H01PS.15, Gothenburg, Sweden, on July 26, 2013.
3. Shimizu, Y., Onodera, S., Onishi, K., Saito, M. and Yoshikawa, M., The effect of small impoundments on nutrient transport in a suburban watershed. IAHS/IAPSO/IASPEI Joint Assembly, IAHS Symposium H09S4.01, Gothenburg, Sweden, on July 26, 2013.
4. Saito, M.; Onodera, S.; Shimizu, Y., Effects of residence time and nutrient load on the eutrophic condition and phytoplankton variation in agricultural reservoirs. IAHS/IAPSO/IASPEI Joint Assembly, IAHS Symposium H04S3.06, Gothenburg, Sweden, on July 24, 2013.
5. Onodera, S., Saito, M., Maruyama, Y., Miyaoka, K., Jin, G., Shimizu, Y., Nutrient dynamics and budget with the surface water-groundwater interaction in the tidal river in Japan, AGU Fall Meeting, in S.F., US, December, 2013.
6. Shimizu, Y., Onodera, S., Onishi, K. and Saito, M. The effect of in-stream impoundments on nitrogen transport in a suburban watershed, American Geophysical Union 2013 Fall Meeting, in S.F., US, December, 2013.
7. Yutaka Maruyama, Shin-ichi Onodera, Koichi Kitaoka, Estimation of water velocity and heat flux in horizontal bypasses of the alluvial fan, using waveforms of seasonal variations in spring water temperature, American Geophysical Union Fall Meeting in S.F., US, December 12, 2013.
8. Onodera, S., Tase, N., Terada, R., Saraiva, F., Hirata, R., Saito, M., Maruyama, Y., Nutrient component of groundwater in agricultural land, Workshop on Water, Nitrogen, and Agriculture in the State of São Paulo, Brazil, in Tsukuba, Japan, February, 2014.

[国内学会等発表]

1. 丸山豊, 小野寺真一, 北岡豪一, 地表温度の周期的な変動が伏流水の温度に与える影響. 日本地下水学会(千葉大会), 2013 年 5 月 18 日.
2. 小野寺真一, 開發一郎, 大西晃輝, 西城潔, 斎藤光代, 津波被災地における塩分及

び重金属汚染の実態. 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 「陸域-海域相互作用」セッション ACG36-02, 2013 年 5 月 22 日, 幕張メッセ国際会議場, 千葉.

3. 小野寺真一, 斎藤光代, 清水裕太, 吉川昌志, 大西晃輝, 沿岸巨大都市における感潮河川の河川-地下水交流と栄養塩流出. 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 「流域の水文地質と物質循環」セッション AHW30-01, 2013 年 5 月 22 日, 幕張メッセ国際会議場, 千葉.
4. 小野寺 真一, 斎藤光代, 窒素同位体を用いた地下水流动と脱窒過程の相互作用に関する研究. 地球惑星科学連合 2013 年大会, 「同位体水文学 2013」セッション AHW26-01, 2013 年 5 月 23 日, 幕張メッセ国際会議場, 千葉 (招待講演) .
5. 斎藤光代, 小野寺真一, 日高元喜, 徳増 実, 大西晃輝, 清水裕太,瀬戸内海燧灘沿岸部の海苔養殖に及ぼす陸域由来栄養塩供給変化の影響. 地球惑星科学連合 2013 年大会, 「同位体水文学 2013」セッション AHW30-02, 2013 年 5 月 22 日, 幕張メッセ国際会議場, 千葉.
6. 斎藤 光代, 小野寺 真一, 清水 裕太, 農業用貯水池における栄養塩状態および植物プランクトン分布特性とその制御要因-瀬戸内海沿岸島嶼部における検討-. 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 「流域の水文地質と物質循環」セッション AHW30-P13, 2013 年 5 月 22 日, 幕張メッセ国際会議場, 千葉.
7. 清水裕太, 小野寺真一, 気候変動による洪水イベントの変化が流域の栄養塩輸送に与える影響. 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 「流域の水文地質と物質循環」セッション AHW30-05 幕張メッセ国際会議場, 千葉.
8. 清水裕太, 小野寺真一, 大西晃輝, 斎藤光代, 吉川昌志, 流域の栄養塩輸送に及ぼす小規模停滞水域の影響. 「流域の水文地質と物質循環」セッション AHW30-P16, 2013 年 5 月 22 日. 幕張メッセ国際会議場, 千葉.
9. 金 广哲, 小野寺真一, 斎藤光代, 清水裕太, 天野敦子, Estimation of phosphorus budget in coastal lake using mass balance model and sediment core profile data. (瀬戸内海沿岸湖における堆積物コアとマスバランスの比較からみる栄養塩収支の長期変化の推定) 日本地球惑星科学連合 2013 年大会「流域の水文地質と物質循環」セッション AHW30-04, 2013 年 5 月 22 日. 幕張メッセ国際会議場, 千葉.
10. 大西晃輝, 小野寺真一, 斎藤光代, 清水裕太, 吉川昌志, 農業肥料大量負荷地域における地下水中の亜酸化窒素ガス濃度分布の季節変化と大気放出ポテンシャル. 日本地球惑星科学連合 2013 年大会「流域の水文地質と物質循環」AHW30-P12, 2013 年 5 月 22 日. 幕張メッセ国際会議場, 千葉.
11. 日高元喜, 小野寺真一, 斎藤光代, 金广哲, 大西晃輝, 吉川昌志, 清水裕太, 燐灘の栄養塩空間分布とその形成要因. 日本地球惑星科学連合 2013 年大会「陸域-海域相互作用」セッション ACG36-P02, 2013 年 5 月 22 日, 幕張メッセ国際会議場, 千葉.
12. 丸山豊, 小野寺真一, 北岡豪一, 扇状地における河川-地下水相互作用 一水みちに着目して-. 陸域環境研究会 (広島大学), 2013 年 7 月 6 日.
13. 丸山豊, 小野寺真一, 北岡豪一, 扇状地中の水みちにおける温度変動の形成機構一岡山と徳島の例. 日本陸水学会 (滋賀大会), 2013 年 9 月 11 日.
14. 丸山豊・小野寺真一・北岡豪一, 水温と安定同位体比の変動から推定される浅層地下水流速. 2013 年度日本水文科学会学術大会, 2013 年 10 月 19 日, 千葉.
15. 斎藤光代・小野寺真一, 淡水-塩水境界域における窒素循環研究の現状と今後の課題 一水文 - 生物地球化学相互作用の観点から-. 2013 年度日本水文科学会学術大会 S6, 2013 年 10 月 20 日, 千葉.

16. 清水裕太, 小野寺真一, 松森堅治, 分布型水文流出モデルによる窒素流出量推定の現状と課題. 2013 年度日本水文科学会学術大会, 2013 年 10 月 20 日, 千葉
17. Guangzhe Jin, Yuta Shimizu, Shin-ichi Onodera, Mitsuyo Saito, Kenji Matsumori. Estimation of groundwater recharge rate and water balance in an agricultural catchment in Seto Inland Sea using SWAT Model. 2013 年度日本水文科学会学術大会 P1, 2013 年 10 月 22 日, 千葉.
18. 有富大樹, 小野寺真一, 斎藤光代, 大西晃輝, 丸山豊, 沿岸花崗岩不圧帶水層における岩盤地下水寄与とその季節変化の推定－酸素安定同位体比を用いた考察－. 2013 年度日本水文科学会学術大会 P7, 2013 年 10 月 19 日, 千葉.
19. 丸山豊, 小野寺真一, 北岡豪一, 旭川河畔域における浅層地下水の流動特性. 陸域環境研究会 (広島大学), 2013 年 11 月 1 日
20. 斎藤光代, 他 6 名, 八郎湖における湖水および湖底間隙水中の栄養塩空間分布. 生物地球化学研究会 2013 年広島セッション, 2013 年 11 月 2 日, 広島.
21. 清水裕太, 小野寺真一, 斎藤光代, 水理生態系モデルを用いた河道上小規模貯水池での栄養塩トラップ量推定と栄養塩貯留・放出を制御する水深・流速の評価. 生物地球化学研究会 2013 年広島セッション, 2013 年 11 月 2 日, 広島.
22. Guangzhe Jin, Shin-ichi Onodera, Mitsuyo Saito, Takaharu Sato, Atsushi Hayakawa, Yuki Ota, Vertical distribution nutrient profile in sediment pore water from Hachirogata Lake,- Effects of groundwater flux on pore water nutrient profile and its regeneration. 生物地球化学学会, 2013 年広島セッション, 2013 年 11 月 2 日.
23. 有富大樹, 小野寺真一, 斎藤光代, 大西晃輝, 丸山豊, 花崗岩流域の沿岸不圧帶水層における $\text{NO}_3\text{-N}/\text{Cl}^-$ 濃度比への岩盤地下水寄与とその季節変化の推定－酸素安定同位体比を用いた考察－. 生物地球化学研究会 2013 年広島セッション, 2013 年 11 月 2 日.
24. 丸山豊, 安定同位体分析. 陸域環境研究会 (広島大学), 2014 年 1 月 25 日.
25. 丸山豊, 小野寺真一, 斎藤光代, 北岡豪一, 旭川扇状地における活発かつ部分的な河川-地下水交流とその物質循環への影響. インターユニバーシティ水文研究会 (広島・三原, 竹原), 2014 年 3 月 7 日.
26. 丸山豊, 小野寺真一, 斎藤光代, 北岡豪一, 旭川扇状地における活発かつ部分的な河川-地下水交流とその物質循環への影響.瀬戸内海流域水文研究会(岡山理科大学), 2014 年 3 月 8 日.
27. 金 广哲, Estimation of phosphorus budget in a coastal lake using mass balance model and sediment core profile data 西日本水文学研究会 (Inter-University Hydrology Seminar) in 2013 年 3 月 9 日, 山口大学.